

報道関係各位

12月31日(月)高知競馬場で実施された
重賞「GRANDPRIX 第38回 高知県知事賞」競走は
- サラ系3歳以上OP・2400m(ダート・右回り) -
スペシャリスト号(牡5・田中守厩舎)が優勝!

平素は当組合の競馬運営につきまして格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成19年12月31日(月)高知競馬場にて行われましたサラ系長距離重賞、
第38回 高知県知事賞は、1番人気のスペシャリスト(赤岡修次騎手騎乗)が直線の
叩き合いで前年の覇者サンエムウルフを抑え優勝。重賞初制覇を果たしました。
クビ差の2着に3番人気のサンエムウルフ。3着は7番人気のマリスブラッシュです。
なお競走成績及び展開につきましては別紙のとおりです。

高知県知事賞ハイライト

1年を締めくくる重賞・高知県知事賞。1番人気に推されたのはこの秋JBCクラシックに遠征(12着)したスペシャリスト。地元で重賞初制覇を狙います。ゲートが開くとレースは二転三転する激しい展開になりました。最初にペースを握ったのはケイエススプリング。しかし2周目になると掛かり気味の3番人気サンエムウルフが早めに先頭に。するとこれを追ってスペシャリストや5番人気ローテクロイツが続々と動いて混戦模様となります。残り3ハロンで加速していくスペシャリストとサンエムウルフ。2頭が長い長い叩き合いに入ります。ローテクロイツと2番人気トサローランが伸びあぐね、後方の3番手争いからマリスブラッシュが抜けた頃、スペシャリストがサンエムウルフをクビ差抑えて歓喜のゴールへ!重賞初制覇を高知競馬のグランプリ競走で飾りました。

【お問い合わせ先】

高知県競馬組合業務課

TEL(088)841-5123

FAX(088)841-5130

<http://www.keiba.or.jp/>

高知県知事賞トピックス

コメント 赤岡修次騎手 (スペシャリスト)

「東京大賞典への遠征プランもありましたが、地元のこのレースを目標に調整してきました。レースではいったん後方の位置取りになりましたが、長距離戦だしあまり慌てないように乗りました。ただあまりにペースが落ち着いたので2周目は内から早めに行きましたけど…。最後の叩き合いは相手が西川騎手だったですけど負けたくなかったです。

(来年の抱負)できれば来年もワールドスーパージョッキーズシリーズに出場してまた結果を出してみたいです」

スペシャリストは重賞初制覇

田中守調教師、赤岡修次騎手は高知県知事賞初優勝

勝ち馬 Check!!!

スペシャリストは05年1月に中央競馬でデビュー。同年6月に7戦目となるダート1400m戦(阪神競馬場)で初勝利を挙げると、07年4月までにダート戦ばかりで通算3勝をマーク。福島で3勝目を挙げてすぐに高知競馬場に転入しており、この馬の活躍に対する期待の大きさが伺われます。高知転入後は11戦中3レースが遠征してのもの。佐賀・サマーチャンピオン7着、東京盃14着、JBCクラシック12着という成績ながら、全国の一線級と戦ってきた経験は大きく、今回の高知県知事賞では昨年の覇者サンエムウルフとの競り合いを制して見事に重賞初制覇。まだ5歳という年齢から来年の活躍がより一層期待される存在です。